

地 理 B

(解答番号 ~)

第1問 次の図1は、タリム盆地付近の北緯40度、東経80度の地点Oを中心にして描いた正距方位図法による世界地図の一部である。図1を見て、自然環境に関する下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 16)

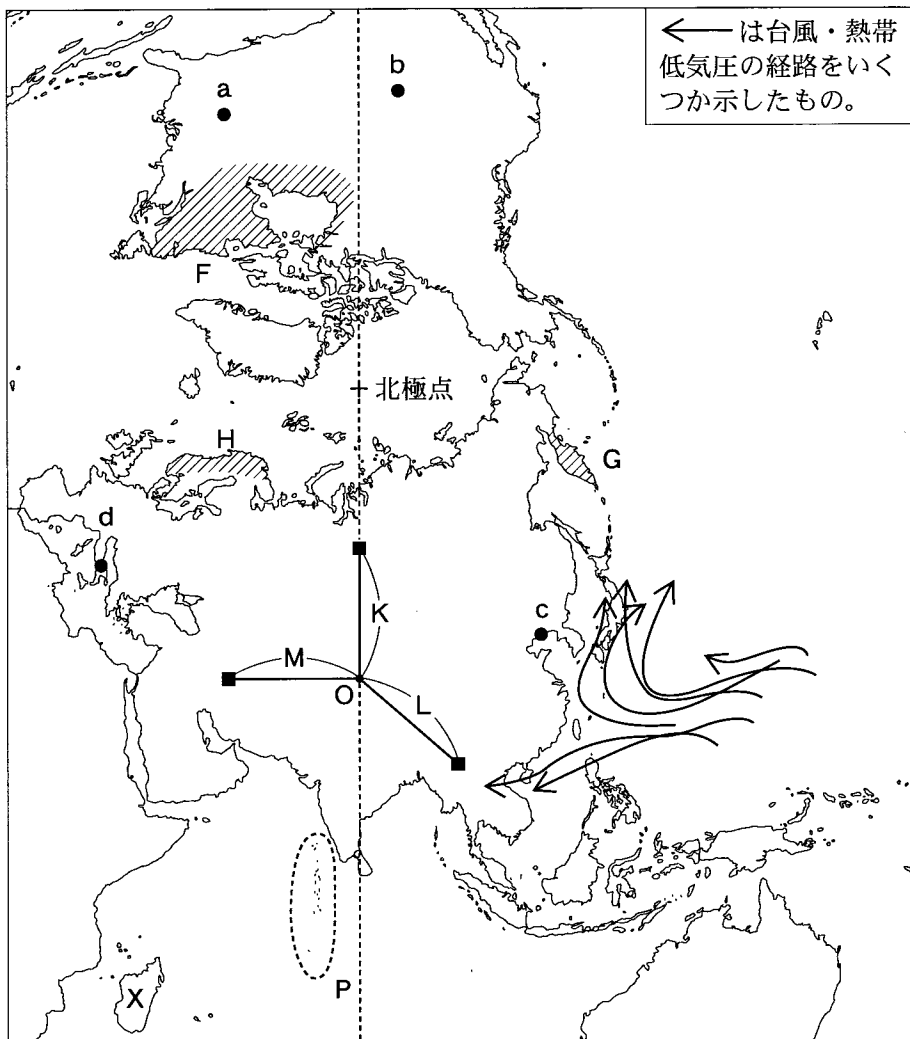
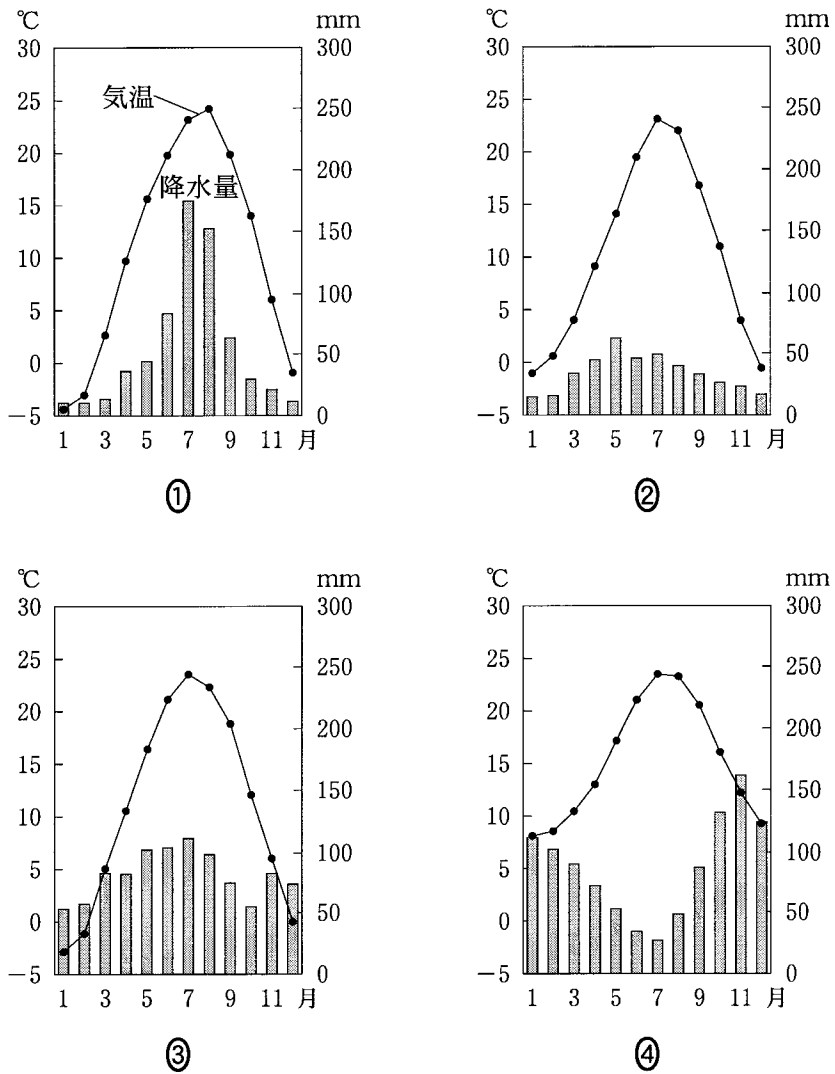


図 1

問 1 次の図2は、図1中のほぼ同緯度に位置するa～dのいずれかの地点における月平均気温と月降水量を示したものである。dに該当するものを、図2中の①～④のうちから一つ選べ。 1



『理科年表』により作成。

図 2

地理 B

問 2 図 1 中の矢印は、太平洋で発生する台風・熱帯低気圧の経路をいくつか示したものである。図 1 から読み取れる台風・熱帯低気圧について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 日本近海よりも海面水温の高い熱帯域で発生しやすい。
- ② 地球の自転の影響により赤道上で発生しやすい。
- ③ 太平洋高気圧の縁を回り込むような経路をとることが多い。
- ④ 中緯度では偏西風により東に進路を変えることが多い。

問 3 次のア～ウの文は、図 1 中の F～H のいずれかの地域の自然環境について説明したものである。ア～ウと F～H との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 3

- ア 古期造山帯に属する山脈が走り、海岸部にはフィヨルドがみられる。
- イ 世界最大の楕状地^{たてじょうち}の一部であり、海岸部にはフィヨルドがみられる。
- ウ 新期造山帯に属する山脈が走り、火山がみられる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	F	F	G	G	H	H
イ	G	H	F	H	F	G
ウ	H	G	H	F	G	F

問 4 次の図3中のカ～クは、図1中のOを始点とするK～Mのいずれかの線に沿った地形断面図である。カ～クとK～Mとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。ただし、高さは水平距離に対して約75倍で表現してある。

4

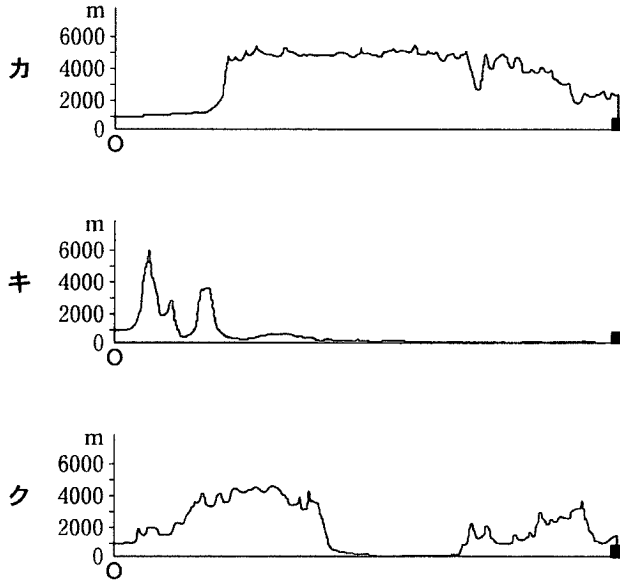


図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	K	K	L	L	M	M
キ	L	M	K	M	K	L
ク	M	L	M	K	L	K

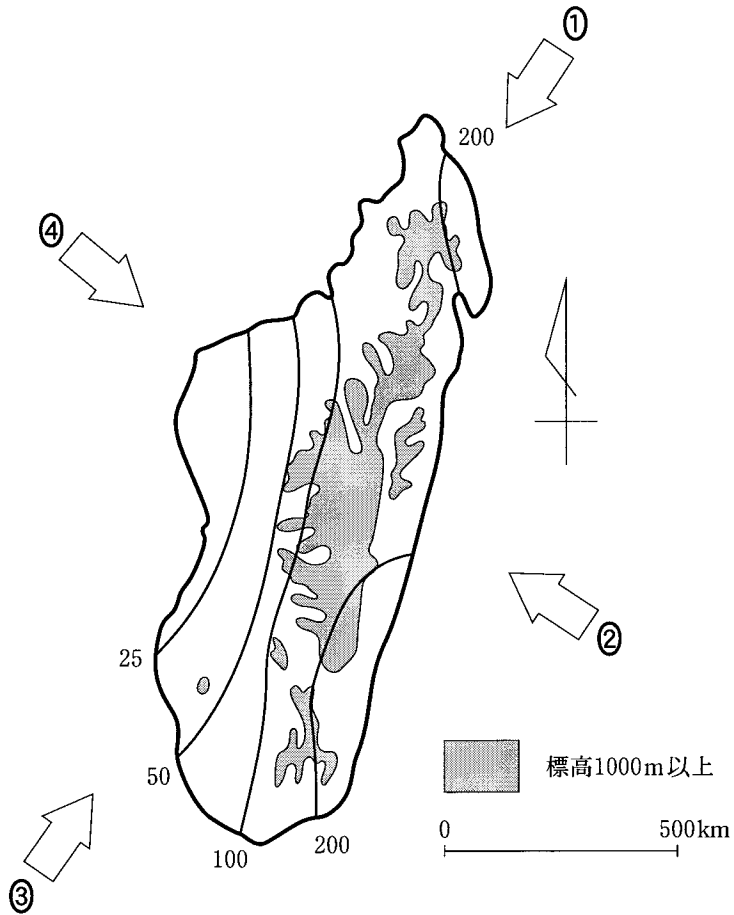
問 5 図1中のPの島々について説明した文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

5

- ① 地球温暖化による海面上昇のため、国土の消失が憂慮されている。
- ② 新期造山帯に属し、火山活動や地震活動が活発である。
- ③ 2004年のスマトラ沖地震の際には津波による被害を受けた。
- ④ サンゴ礁しょうに囲まれた島が多く、主要産業は観光業と漁業である。

地理B

問 6 次の図4は、図1中のX島における7月の降水量分布と標高1,000 m以上の範囲を示したものである。X島の7月の卓越風向として最も適当なものを、図4中の①～④のうちから一つ選べ。 6



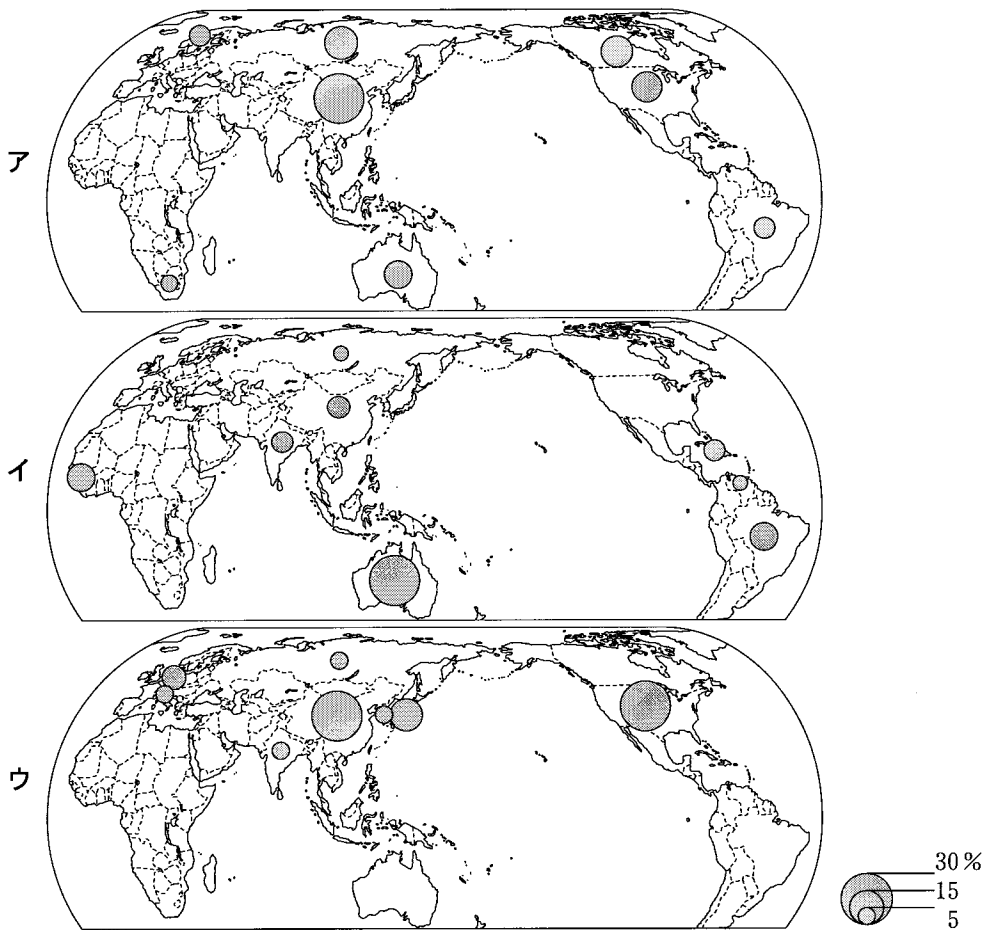
ランベルト正積方位図法による。等値線の単位は mm。
Diercke Weltatlas により作成。

図 4

地理B

第2問 世界の資源と産業に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 16)

問1 次の図1中のア～ウは、ボーキサイトの産出量、アルミニウムの生産量、アルミニウムの消費量のいずれかについて、その世界全体の量に占める割合の上位8か国を示したものである。図1中のア～ウとボーキサイトの産出量、アルミニウムの生産量、アルミニウムの消費量との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 7



統計年次は2004年。
『世界国勢図会』により作成。

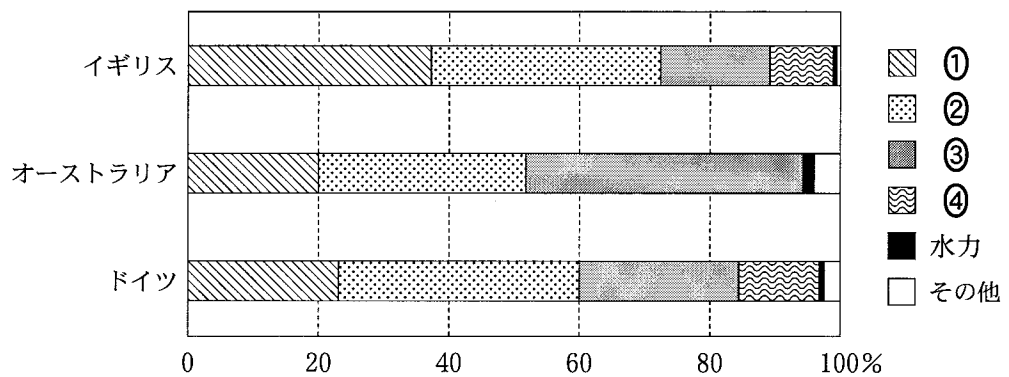
図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
ボーキサイトの産出量	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
アルミニウムの生産量	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
アルミニウムの消費量	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 次の図2は、イギリス、オーストラリア、ドイツにおける1次エネルギー消費*の内訳を示したものであり、①～④は原子力、石炭、石油、天然ガスのいずれかである。石炭に該当するものを、図2中の①～④のうちから一つ選べ。

8

*石油換算。



統計年次は2003年。

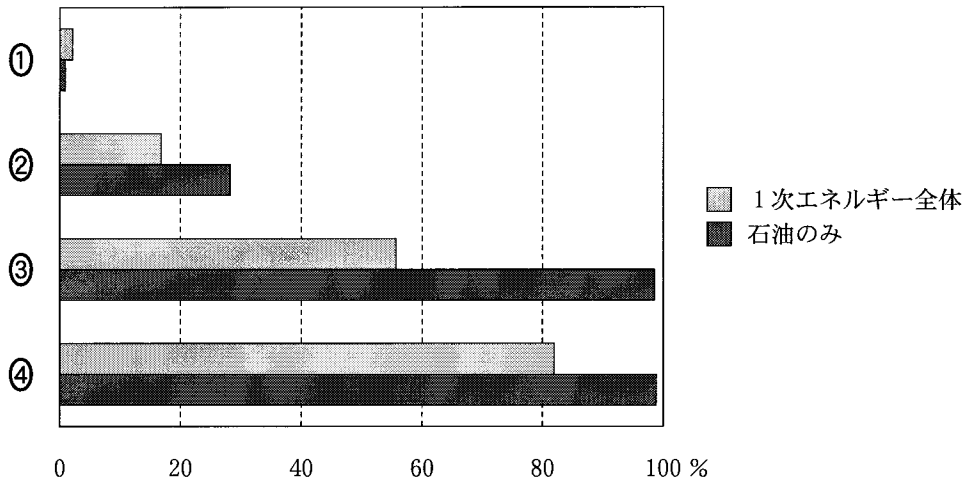
『EDMC エネルギー・経済統計要覧』により作成。

図 2

地理 B

問 3 次の図 3 は、エネルギーの輸入依存率を、1次エネルギー*全体の場合と石油のみの場合についてそれぞれ国別に示したものであり、①～④はカナダ、日本、フランス、ロシアのいずれかである。ロシアに該当するものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。 9

*石油換算。原子力は、国産エネルギーとして計算。

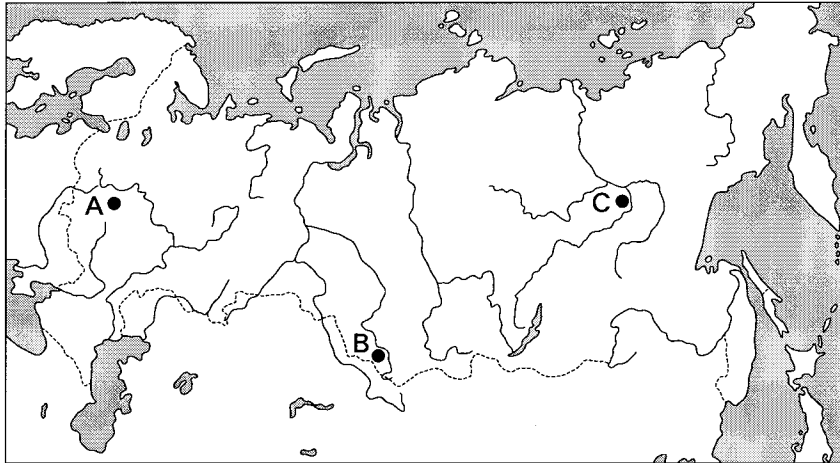


統計年次は 2004 年。
外務省の資料により作成。

図 3

問 4 次の図4中のA～Cは、ロシアにおける三つの工業都市を示しており、下のカ～クの文は、A～Cのいずれかの特徴について述べたものである。図4中のA～Cとカ～クとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

10



国境線は、設問にかかわる部分のみを記入した。

図 4

カ この都市を中心とした地域は、露天掘り炭田を基盤として、鉄鋼業などの重工業が発達している。

キ この都市を中心とした地域は、周辺に炭田、天然ガス田を有するうえ、毛皮の交易によって皮革工業も盛んである。

ク この都市を中心とした地域は、機械、金属、食品、繊維などの工業が総合的に発達している。

	A	B	C
①	カ	キ	ク
②	カ	ク	キ
③	キ	カ	ク
④	キ	ク	カ
⑤	ク	カ	キ
⑥	ク	キ	カ

地理 B

問 5 中央・南アメリカの国々の資源と産業について述べた文として下線部が最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① アルゼンチンでは、石油が重要な輸出品となっているうえ、高度な技術を用いた航空機工業に支えられ、国の経済は安定している。
- ② チリでは、国の経済は銅や銅鉱石の輸出に依存してきたが、近年、輸出の中心は電気・電子部品に移った。
- ③ ブラジルでは、鉄鉱石を利用して鉄鋼業や機械工業が盛んであるうえ、外国資本による自動車工場の立地がすすんでいる。
- ④ メキシコでは、石油や鉄鉱石を利用した重化学工業が発展してきたが、近年、研究開発を中心とした宇宙産業が盛んである。

問 6 工業の立地について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① アパレル(衣服)産業のデザイン部門は、流行などに関する各種情報の収集が重要となるため、大都市に立地する傾向が強い。
- ② 魚介類を缶詰に加工する部門は、消費者の多い大都市やその周辺に立地する傾向が強い。
- ③ 石油化学や石油精製部門は、原料となる石油の輸送に便利な臨海部に立地する傾向が強い。
- ④ 電気製品の組立部門は、安価な労働力を得やすい地域に立地する傾向が強い。

地理B

第3問 世界および日本の都市に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 16)

問1 次の表1は、1980年と2000年*の人口100万人以上の都市**数を地域別に示したものであり、①～④は、アジア、オセアニア、CIS(独立国家共同体)**、中央・南アメリカのいずれかである。中央・南アメリカに該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。 13

*1980年と2000年の統計値のない国は、できるだけ近い年の値を用いた。

**郊外を含む都市域の人口が100万人以上の都市を含む。

***1980年はバルト三国を除く旧ソ連諸国。

表 1

地 域	人口100万人以上の都市数	
	1980年	2000年
①	105	270
北アメリカ	37	52
ヨーロッパ	28	27
②	20	49
③	20	24
アフリカ	11	35
④	2	6

北アメリカにはメキシコを含まない。

『世界人口年鑑』などにより作成。

地理B

問 2 首都の立地は様々な理由によって決められる。次のア～ウの文は、オーストラリア、トルコ、ナイジェリアのいずれかの国の首都について述べたものである。ア～ウと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

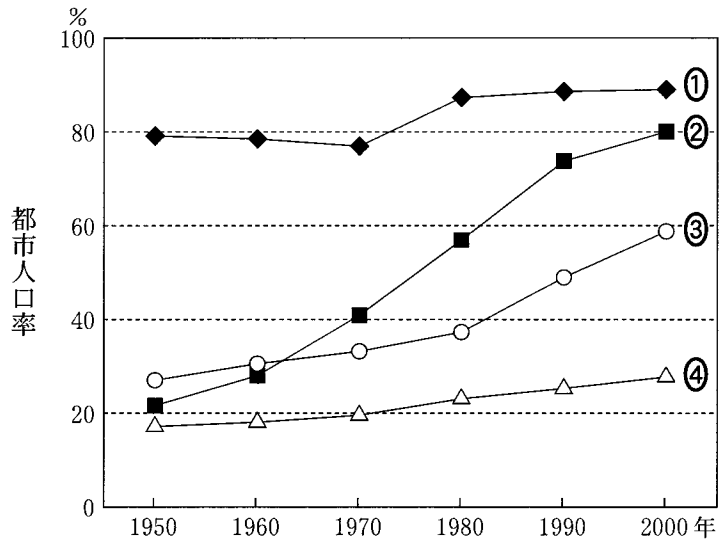
14

- ア 社会・宗教集団間の対立が比較的少ない未開発地域に、首都がおかれた。
イ 祖国解放運動が展開した国土のほぼ中央部に、首都がおかれた。
ウ 二つの主要都市の間に位置する未開発地域に、首都がおかれた。

	ア	イ	ウ
①	オーストラリア	トルコ	ナイジェリア
②	オーストラリア	ナイジェリア	トルコ
③	トルコ	オーストラリア	ナイジェリア
④	トルコ	ナイジェリア	オーストラリア
⑤	ナイジェリア	オーストラリア	トルコ
⑥	ナイジェリア	トルコ	オーストラリア

地理 B

問 3 次の図 1 は、都市人口率の推移を国別に示したものであり、①～④はイギリス、インド、韓国、フィリピンのいずれかである。イギリスに該当するものを、図 1 中の①～④のうちから一つ選べ。 15



『世界国勢図会 CD-ROM』により作成。

図 1

問 4 次の図2は、日本における大都市の内部構造を模式的に示したものである。

図2中のA～Dの地区のいずれかの特徴について述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

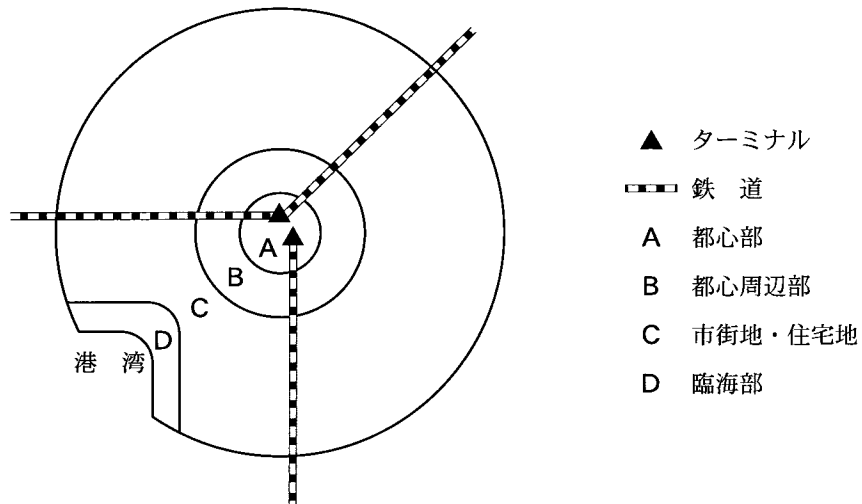


図 2

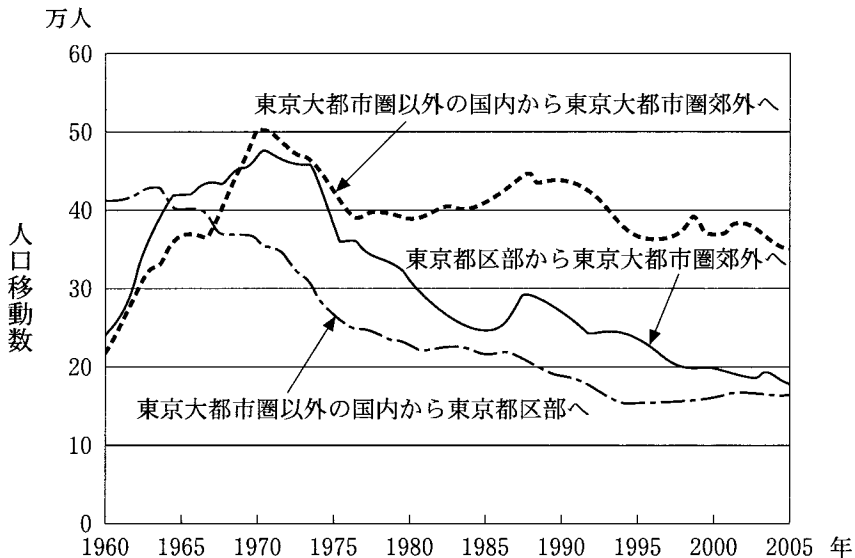
- ① A地区では、官公庁や企業の本社などの立地がみられ、昼間人口と夜間人口の差が小さい。
- ② B地区では、中小工場や問屋などの立地がみられ、住民の高齢化がすすんでいる。
- ③ C地区では、都市計画にもとづくスプロール現象がみられ、鉄道に沿って連続的に商業施設が立地している。
- ④ D地区では、大規模な工場や倉庫群などの立地がみられ、地区全体の地価が高い。

地理 B

問 5 次の図 3 は、東京都区部、東京大都市圏郊外*、東京大都市圏以外の国内**の居住地移動をとともなう地域間人口移動数の変化を示したものである。地域間人口移動の特徴について説明した文として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 17

*東京都の区部を除いた地域および神奈川県、埼玉県、千葉県。

**東京都区部、東京大都市圏郊外を除く日本国内。



『住民基本台帳人口移動報告年報』などにより作成。

図 3

- ① 東京都区部から東京大都市圏郊外への人口移動は、1960年代に増加した。
- ② 東京大都市圏以外の国内から東京都区部への人口移動は、1960年代後半から1990年代前半にかけて減少傾向にある。
- ③ 東京大都市圏以外の国内から東京大都市圏郊外への人口移動は、1980年代に最も多くみられた。
- ④ 東京大都市圏以外の国内から東京大都市圏郊外への人口移動は、1990年代以降、東京都区部への人口移動の約2倍となっている。

問 6 近年、日本の都市では人間と自然との共生をめざした取組みが行われている。その取組みについて述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

18

- ① 生態系の保全・再生やその教育のために、学校や公園・緑地内にビオトープを整備する。
- ② 都市の気温上昇を緩和するために、エアコンの普及をすすめる。
- ③ 交通渋滞を緩和し、大気汚染を抑制・防止するために、パークアンドライドの利用をすすめる。
- ④ 水資源を有効利用するために、雨水を貯留して生活用水の一部に用いる。

地理B

第4問 南アジアを示した次の図1を見て、下の問い(問1～6)に答えよ。

(配点 17)

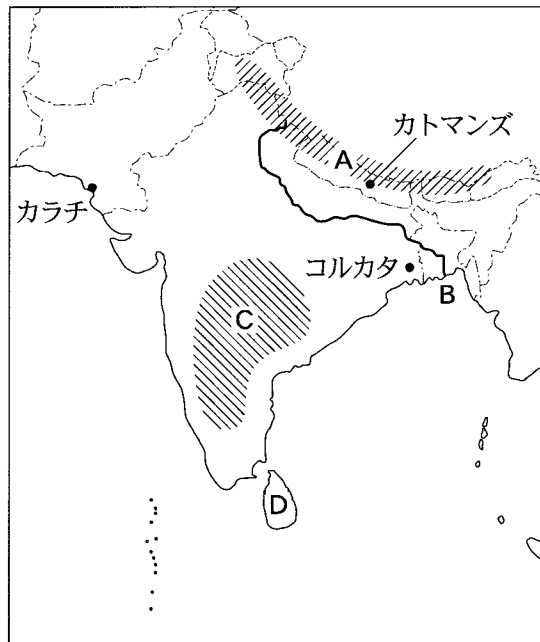


図 1

問1 図1中のA～Dで示された地形について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

19

- ① A山脈では、激しい侵食作用で標高が徐々に低下している。
- ② B川では、下流域に大規模な三角州(デルタ)が発達している。
- ③ C高原では、テラロッサとよばれる赤色の土壌が厚く分布している。
- ④ D島では、活発な火山活動がみられる。

地理B

問 2 次のア～ウの文章は、図1中に示したカトマンズ、カラチ、コルカタ(カルカッタ)のいずれかの都市の気候について述べたものである。ア～ウと都市名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

ア 雨季に年降水量の約4分の3の雨が降り、1年を通して高温である。サイクロンの襲来による被害を受けることもある。

イ 雨季に年降水量の約4分の3の雨が降る。最寒月の平均気温が10℃、最暖月の平均気温が24℃と、1年を通して温暖である。

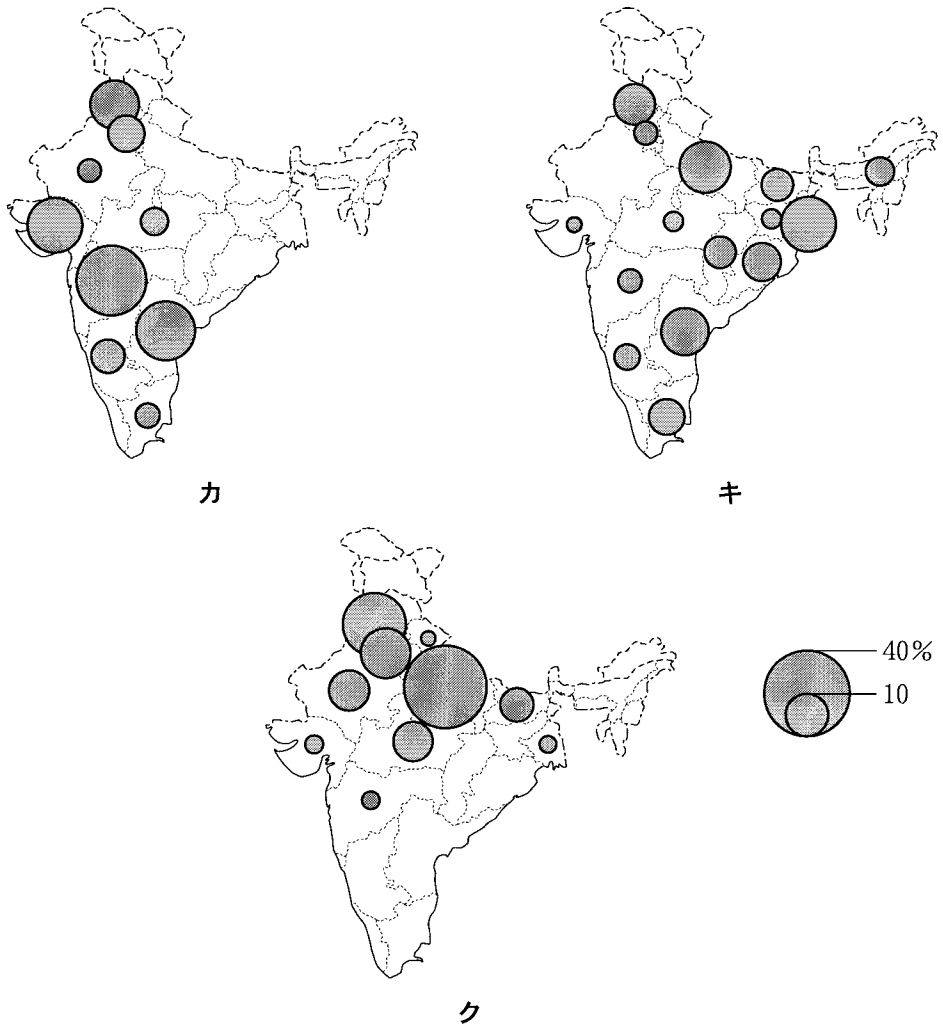
ウ 年降水量が200mmより少ない。気温の日較差は大きく、日中の気温が40℃を超えることもある。

	ア	イ	ウ
①	カトマンズ	カラチ	コルカタ
②	カトマンズ	コルカタ	カラチ
③	カラチ	カトマンズ	コルカタ
④	カラチ	コルカタ	カトマンズ
⑤	コルカタ	カトマンズ	カラチ
⑥	コルカタ	カラチ	カトマンズ

地理 B

問 3 次の図 2 は、インドにおける主な農産物の生産量をインド全体に対する州ごとの割合で示したものであり、カ〜クは小麦、米、綿花のいずれかである。図 2 中のカ〜クと農産物との正しい組合せを、次ページの①〜⑥のうちから一つ選べ。

21



割合が1%未満の州については省略した。

統計年次は2001/02年。

Handbook of Statistics on the Indian Economy 2004-05 により作成。

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	小麦	小麦	米	米	綿花	綿花
キ	米	綿花	小麦	綿花	小麦	米
ク	綿花	米	綿花	小麦	米	小麦

問 4 インドの工業化について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① イギリスの植民地時代には、財閥系の民族資本によって、綿工業や製鉄業などが発展した。
- ② イギリスからの独立直後は、輸出指向型の工業化がすすめられ、電気機械工業が発展した。
- ③ 1960年代後半ごろには、社会主義的な計画経済のもとでの経済発展が伸び悩みをみせ、鉄鋼生産なども停滞した。
- ④ 1990年代以降には、経済の自由化政策のもとで、コンピュータ関連産業が発展してきた。

地理 B

問 5 次の表 1 は、国別の輸出と輸入について、金額の上位 3 品目とそれぞれの総額に占める割合を示したものであり、P～R はインド、スリランカ、パキスタンのいずれかである。表 1 中の P～R と国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

23

表 1

(単位：%)

	輸 出		輸 入	
P	ダイヤモンド	13.0	原 油	24.1
	繊維品*	10.9	機械類	16.7
	衣 類	10.5	ダイヤモンド	9.0
Q	繊維品	47.5	機械類	17.3
	衣 類	22.9	原 油	11.3
	米	5.0	石油製品	9.1
R	衣 類	49.8	繊維品	21.8
	茶	13.8	機械類	18.3
	機械類	5.0	石油製品	7.2

*糸、織物、じゅうたん、毛布などを指す。

統計年次は、インドとパキスタンが 2003 年、スリランカが 2002 年。
『世界国勢図会』により作成。

	P	Q	R
①	インド	スリランカ	パキスタン
②	インド	パキスタン	スリランカ
③	スリランカ	インド	パキスタン
④	スリランカ	パキスタン	インド
⑤	パキスタン	インド	スリランカ
⑥	パキスタン	スリランカ	インド

問 6 次の①～④の文章は、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュのいずれかの国の言語と宗教について述べたものである。バングラデシュに該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

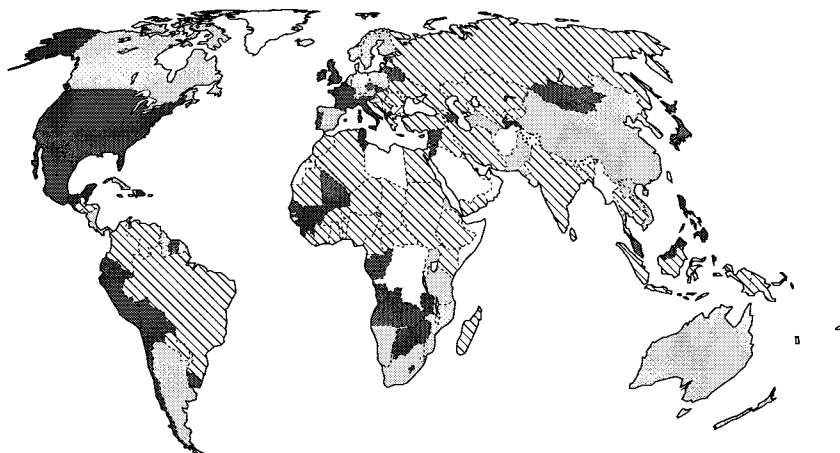
- ① この国では、主にウルドゥー語のほか、英語も使われている。多くの国民はイスラム教徒である。
- ② この国では、主にシンハリ(シンハラ)語とタミル語が使われている。仏教徒が最も多いが、イスラム教やヒンドゥー教を信仰する人々もいる。
- ③ この国では、主にベンガリー(ベンガル)語が使われている。多くの国民はイスラム教徒である。
- ④ この国では、インド・ヨーロッパ語族やシナ・チベット語族の言語が使用されている。多くの国民はヒンドゥー教徒である。

地理 B

第 5 問 現代世界の様々な社会的課題に関する次の問い(問 1～6)に答えよ。

(配点 17)

問 1 次の図 1 は、国会の議席に占める女性議員の割合を示したものであり、A～C は、割合が 10% 未満、10～20% 未満、20% 以上のいずれかである。A～C と割合との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 25



A
 B
 C
 データがない、または議会がない国など

統計年次は 2003 年。

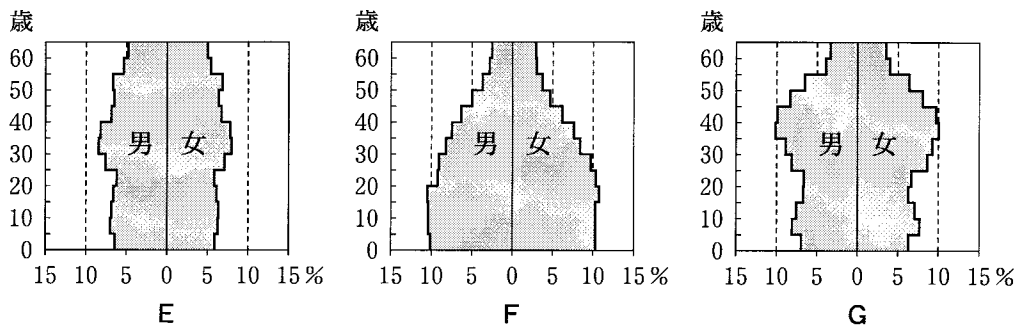
『人間開発報告書 2003』により作成。

図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
10% 未満	A	A	B	B	C	C
10～20% 未満	B	C	A	C	A	B
20% 以上	C	B	C	A	B	A

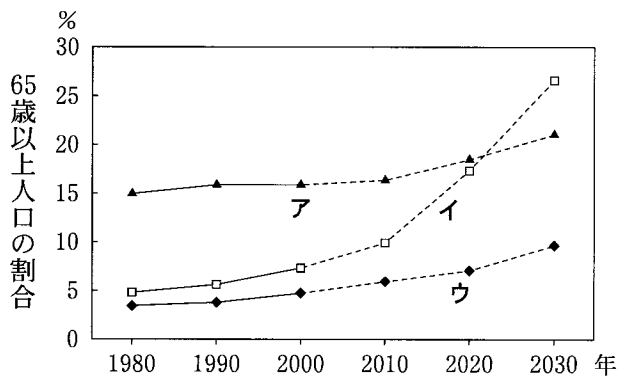
問 2 次の図2は、E～Gの三つの国における2000年の64歳までの人口ピラミッドを示したもので、図3は、全人口に占める65歳以上人口の割合の推移と予測を示したものであり、図3中のア～ウは、図2中のE～Gのいずれかの国に該当する。E～Gとア～ウとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

26



World Population Prospects により作成。

図 2



『世界国勢図会 CD-ROM』により作成。

図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
E	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
F	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
G	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

地理 B

問 3 発展途上国が抱える課題について述べた文として適当でないものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 乳児死亡率の低下が一因となり、人口増加が著しい。
- ② 初等学校では女性の就学率が低く、教育面での男女差がみられる。
- ③ 不衛生な不良住宅地区は、農村部を中心に形成されている。
- ④ いくつかの都市には、ストリートチルドレンがみられる。

問 4 言語・宗教・民族などの歴史や動向について述べた文として下線部が最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 北アイルランドでは、人口の6割を占める多数派のプロテスタントと少数派の東方正教徒の間の対立が続いている。
- ② 旧ソ連地域では、連邦解体後に民族を単位とした多くの共和国が独立したため、旧ソ連時代の民族問題は解決した。
- ③ ブラジルでは、多様な人種の間にも均質な文化がみられ、国民のほぼすべてが日常生活でスペイン語を使っている。
- ④ カナダのケベック州では、古くからフランス系住民が住んでおり、連邦政府からの分離独立運動がみられる。

問 5 次の表1は、スウェーデン、スペイン、ドイツ、フランスにおける外国人労働者の国籍について、その国籍別人口の上位3位を示したものであり、①～④は、それらの4か国のいずれかである。ドイツに該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。 29

表 1

	①	②	③	④
第1位	ポルトガル	トルコ	モロッコ	フィンランド
第2位	アルジェリア	イタリア	エクアドル	デンマーク
第3位	モロッコ	ギリシャ	コロンビア	ノルウェー

統計年次は2004年。
OECDの資料により作成。

問 6 下のカ～クの文は、次の図4中に示したK～Mのいずれかの範囲の中で発生した難民に関して述べたものである。カ～クとK～Mとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 30

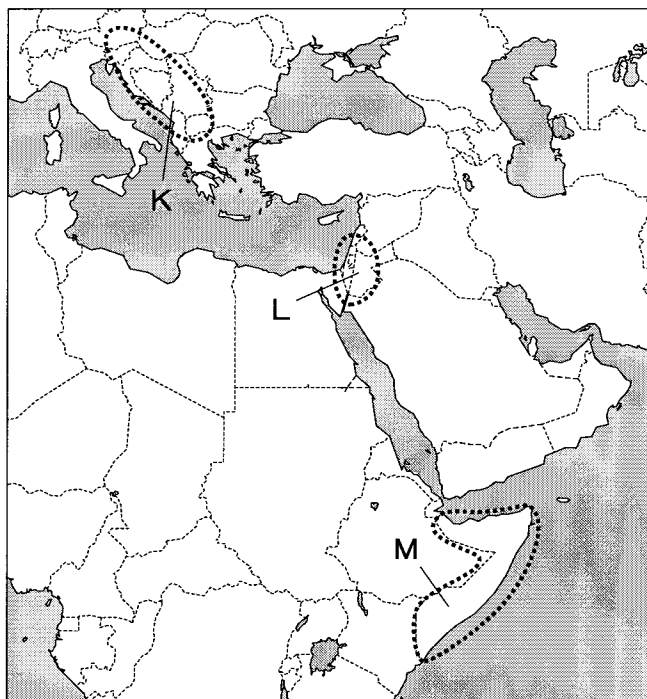


図 4

- カ ユダヤ人国家の建国にともなって難民が発生した。
- キ 国の体制が崩壊し、複数の民族・国家間紛争が生じて難民が発生した。
- ク 干ばつなどの災害のほか、度重なる内戦の混乱で難民が発生した。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	K	K	L	L	M	M
キ	L	M	K	M	K	L
ク	M	L	M	K	L	K

地理B

第6問 マミさんは、広島市の自然や成り立ち、都市としての特徴を明らかにするために調査を行った。この調査に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

問1 マミさんは、いくつかの調査項目について、その内容と用いる参考資料を検討した。それぞれの調査内容と参考資料について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

31

- ① 広島市を中心とした各市町村の人口構成や少子高齢化の状況を調べるために、住宅地図を利用する。
- ② 広島市の地形や住宅地化の状況を調べるために、新旧の空中写真を比較する。
- ③ 広島市の産業の分布をGIS(地理情報システム)で分析するために、数値地図と統計資料を集める。
- ④ 広島市に本社のある企業の概要について調べるために、インターネットでこの会社のウェブサイトを開覧する。

問2 マミさんは、広島市での調査結果を図表に表現する方法を検討することにした。図の表現に関して述べた文として**最も適当なもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

32

- ① 広島市の人口密度の状況を示すために、各町単位の階級区分図を作成した。
- ② 県内の市町村別の野菜の生産量を示すために、流線図を作成した。
- ③ 広島市への国別の観光客数を示すために、等値線図を作成した。
- ④ 広島市からのフェリー航路を示すために、ドットマップを作成した。

問3 マミさんは、現在は市街化された広島市の地形の特徴を知るために、古い地図を探した。次の図1は、1898年の5万分の1地形図(原寸)である。図1中から読み取ることのできる地形として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

33

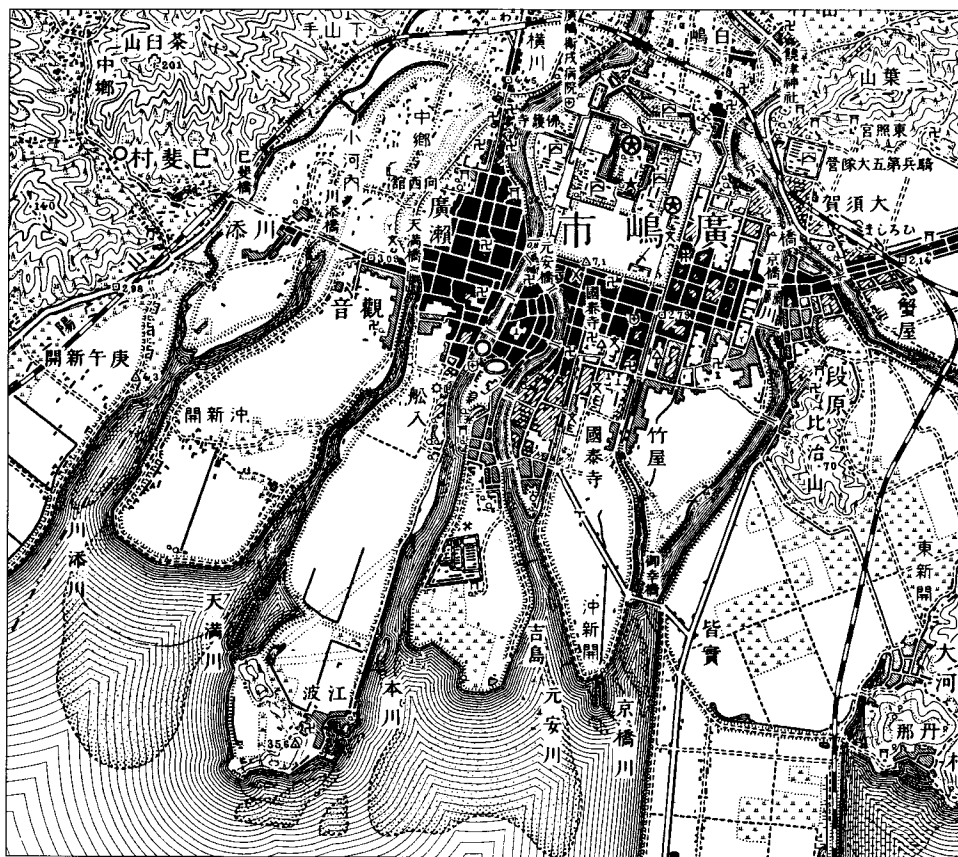


図 1

- ① 砂州
- ② リアス式海岸
- ③ ラグーン(潟湖)
- ④ 干潟

地理B

問 4 マミさんは、戦災を受けた広島市中心部の変化を地形図から読み取ることにした。次の図2は、1925年と2005年に発行された2万5千分の1地形図(原寸、一部改変)である。図2から分かるこの間の変化について述べた文として適当でないものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

34



図 2

- ① 図の中央部の広島城跡とその周辺の官庁街は、軍関係施設であった。
- ② 図の北東部の東練兵場であった場所には、工業団地がみられる。
- ③ 図の西部の相生橋あいおいより西の市街地には、格子状の街路網が整備された。
- ④ 図の南西部の平和記念公園の場所には、多くの寺院が立地していた。

問 5 マミさんは、広島市の産業の特徴を明らかにするために、中国・四国地方の主要都市として位置づけられる岡山市、高松市、松山市と広島市とを比較した。次の表 1 は、それぞれの都市の 1 人当たりの卸売業年間商品販売額、1 人当たりの製造品出荷額、農業産出額を示している。広島市に該当するものを、表 1 中の①～④のうちから一つ選べ。 35

表 1

	1 人当たりの卸売業 年間商品販売額 (万円)	1 人当たりの 製造品出荷額 (万円)	農業産出額 (千万円)
①	583.3	156.4	648
②	217.2	77.5	1,969
③	516.5	100.7	1,262
④	336.9	116.6	2,127

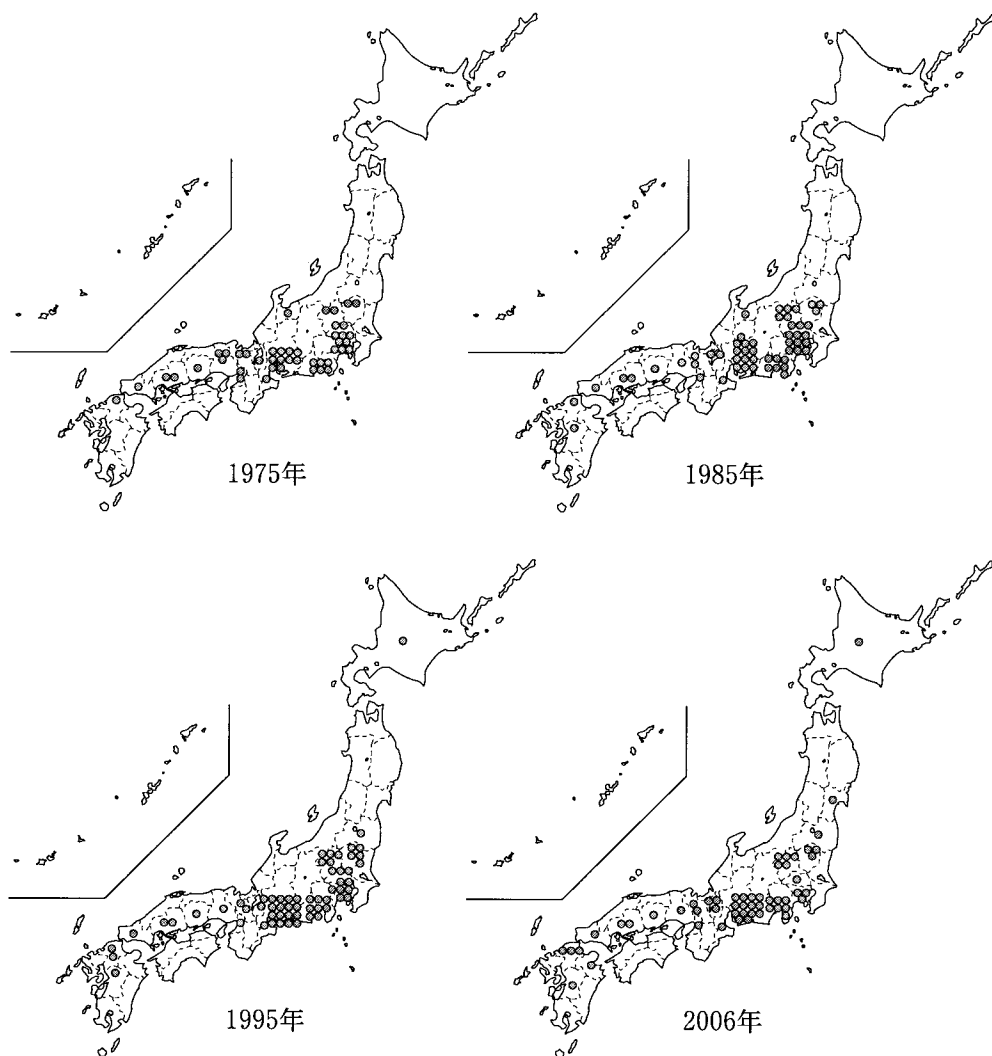
統計年次は 2004 年。
商業統計、工業統計、農林水産統計などにより作成。

地理 B

問 6 マミさんは広島県の主要産業である自動車製造業の分布について調べることにした。次の図 3 は、1975 年、1985 年、1995 年および 2006 年における、日本の主な自動車*製造会社の国内での工場の立地数**を都道府県別に示したものである。図 3 を説明した文として誤っているものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 36

*バス・トラックを除く。

** 1 点が 1 工場を示す。



(社)日本自動車工業会『日本の自動車工業』により作成。

図 3

地理 B

- ① 1975 年の工場分布は、太平洋ベルトと北関東地方に多い。
- ② 1985 年の工場分布は、1975 年と比べ関東、東海地方で増加した。
- ③ 1995 年の工場分布は、1985 年と比べ中国地方で減少した。
- ④ 2006 年の工場分布は、1995 年と比べ関東地方で減少した。

問題と解答は、独立行政法人 大学入試センターホームページより転載しています。
ただし、著作権上の都合により、一部の問題・画像を省略しています。

日本一の学校情報



<http://www.js88.com>

インターネット塾・予備校情報サイト



<http://jyuku.js88.com>